

2014年度事業計画書

【期間】2014年4月1日～2015年3月31日

1. 事業方針

2014年度の事業計画の基本方針と、各事業部門の具体的内容を提案します。

1-1. 2014年度基本方針

1. コミュニティコーディネーター育成の事業化に取り掛かります。
2. 少子高齢社会における地域課題解決の具体策を検討します。
3. 地域の主体が地域課題の解決に取り組むための協働のプラットフォーム作りを進めます。

※付記「地域の主体」の説明

地域に於いて活動するボランティア団体や市民団体、地縁組織や町会・自治会など、医療関係者や介護施設など、大学・研究機関などの多様な組織や人材を指します。

1-2. 2014年度 現状認識

今年度は、社会の経済動向の変化や政治的な背景により、NPOへの期待が減速してきたと感じられることが多くなりました。私たちは、これまで、NPOという法人形態が、社会貢献を体現していると自負していましたが、社会的事業の起業を政府が積極的に支援していることから、社会貢献を事業として取り組む法人は多種多様な時代になりました。

NPOの活動は社会の基盤を支えるものとして、一定の評価を受け、競争化が始まったことも意味しています。社会的事業を様々な法人形態で取り組めるようになったことは、社会貢献活動の事業化が認知されたということでもあります。これらのことは、CoCoTは、何故、NPO法人で収益事業を続けているのかが問われることとなります。

その答えは、CoCoTが繋がりを持つ人々の中にあります。NPO法人CoCoTは、地域課題に向き合いその解決に取り組み市民社会を実現しようとしている人々やCoCoTの社会に向かう姿勢に共感する人々と共にあります。つまり、CoCoTがNPO法人である理由は、市民社会の形成に自発的自覚的な関わりを持つ人々の活動をわかりやすく示すためなのです。

●各事業部門の再編成について

今年度から、復興支援・NPO支援・地域連携・人材育成事業の4部門を、NPO支援、地域連携、人材育成の3部門に整理します。復興支援事業部門は、継続的に関係を持ち続

けているいわき市に設置した「ポートカフェ CoCoT の森」の業務が NPO 支援と地域活性化支援に集中してきたことから、「CoCoT の森」をまちづくり拠点と位置付けて、地域連携事業の中に組み込みます。人材育成を根幹となる最重点事業とし、地域連携を市民参加を促す具体的事業、NPO 支援を実現の方策としての専門的事業と、各部門の関係性を意味づけます。

1-3 事業系

(1) 人材育成事業部門

人材育成事業は、各事業部門の横断的なプログラムで、コミュニティコーディネーター育成は CoCoT の特徴的な強みです。このことから、人材育成事業部門を最重点事業とし、「新しい公共事業」の成果として評価された「コミュニティプランニングコーディネーター育成講座事業」を、将来的に CoCoT の事業の核となるものと位置づけます。事業化を進めるための基礎調査を始めます。そのために、多くの方の協力とサポートを募ります。事業化を進めることと CoCoT の組織基盤強化を並行して進めます。

- ① コミュニティコーディネーター育成
- ② コミュニティワーカー養成

(2) 地域連携事業部門

高齢化社会に対応した地域の見守り体制づくりの研究を、公益財団法人ニッセイ精霊健康福祉財団の支援を受けて、松戸の先進事例を典型的にまとめあげる段階まで進めます。また、今年度から、2010年度に手掛けたアートラインプロジェクトを、再度、アートによるコミュニティ再生を掲げて、松戸市といわき市で取り組みます。地域社会への関わりを考え真摯に取り組んでいる若い世代と4年の変遷を経て、新たな事業を連携して取り組めることは、CoCoT の大きな自信と成果になります。

- ① 高齢社会に対応した地域見守り体制づくりの支援
- ② 【復興支援】松戸東口周辺エリア活性化事業
- ③ 【復興支援】いわきまちづくり拠点「ポートカフェ CoCoT の森」運営

(3) NPO 支援事業 部門

NPO 支援事業部門については、今年度は、まつど市民活動サポートセンター指定管理業務の指定期間が終了し、再度募集選考が行われます。まつど市民活動サポートセンターが松戸のみならず東葛地域の要となり、多くの自治体や支援センター関係者から視察を受ける施設をなってきました。そのセンターを松戸市内の市民活動団体と共に築き上げてきた自負を持って、地域のフューチャーセンターとして次世代型の市民活動サポートセンターを作っていくことを提案していきます。また、NPO 支援が非常に高度化し専門性が高くなってきたことから、支援業務の担い手をネットワーク化し、地域の社会的資源を取り込んでいく運営の手法を進めます。

- ① まるごと松戸ファンドの運営
- ② 地域活性化センター松戸の運営事業
- ③ NPO活動交流推進事業
- ④ まつど市民活動サポートセンター管理運営事業

※別紙「平成26年度CoCoT事業一覧」参照

1-4 管理系

(1) 広報

NPO法人CoCoTの広報戦略

共感者とステイクホルダーの開発を目的とした活動情報提供

- ① HP/ブログ
- ② メルマガ
- ③ Facebook
- ④ パンフレット

(2) 組織運営

NPO法人CoCoTの組織運営(事務局)

働き方や活動への参加の形態を多様化させます。

従来の正会員、準会員、賛助会員に加えて、交流会会員を設定します。

賛助会員を寄付者の方、交流会会員を交流会参加者の方とします。

- ① 会員管理
- ② 広報進捗管理
- ③ 総会・理事会
- ④ 各事業小口管理

(3) 経営

NPO法人CoCoTの法人経営(経営会議)

35歳以下の新規雇用者に対して、研鑽の場を提供し、力量形成を支援します。

60歳以上の退職シニアに対して、その経験と実績が発揮できる場を提供します。

- ① 財務
- ② 経理
- ③ 人事
- ④ 裁判対応

2014年度 活動計算予算書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク
代表理事 川瀬 裕思

科目	金額(単位:円)	
I 経常収益		
1. 受取会費		218,000
正会員受取入会金	30,000	
正会員受取会費	126,000	
準会員受取入会金	5,000	
準会員受取会費	57,000	
2. 受取寄附金		1,000,000
受取寄附金	1,000,000	
3. 受取助成金等		6,290,000
受取民間助成金	5,990,000	
受取雇用関連助成金	300,000	
4. 事業収益		26,225,000
NPO支援事業収益	21,665,000	
地域連携事業収益	2,390,000	
うち復興支援事業収益	25,000	
人材育成事業収益	2,170,000	
5. その他収益		-
受取利息	-	
雑収益	-	
経常収益計		33,733,000
II 経常費用		
1. 事業費		31,186,000
NPO支援事業費		
人件費	15,079,000	
その他経費	5,439,000	
地域連携事業費		
人件費	3,700,000	
その他経費	5,376,000	
うち復興支援事業費		
人件費	2,556,000	
その他経費	3,080,000	
人材育成事業費		
人件費	500,000	
その他経費	1,050,000	
事業部門共通事業費		
人件費	-	
その他経費	42,000	
人件費計	19,279,000	
その他経費計	11,907,000	
2. 管理費		2,519,000
(1) 人件費		
役員報酬	-	
給料手当	-	
法定福利費	-	
福利厚生費	-	
人件費計	-	
(2) その他経費		
旅費交通費	-	
通信費	120,000	
租税公課	600,000	
消耗品費・印刷製本費	19,000	
地代家賃・管理費・水道光熱費	1,280,000	
会議費・賃借料	150,000	
支払手数料・支払利息・保険料	350,000	
その他経費計	2,519,000	
経常費用計		33,705,000
当期経常増減額		28,000

Ⅲ 経常外収益			
1. 固定資産売却益	-		
経常外収益計		-	-
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			-
税引前当期正味財産増減額			28,000
法人税、住民税及び事業税			-
当期正味財産増減額			28,000
前期繰越正味財産額			3,608,081
次期繰越正味財産額			3,636,081